

◇参考

1、 「エシカル消費」について

マイバッグの持参やエコ商品の購入、地産地消など、人や社会、環境、地域に配慮した消費行動のことです。弊組合では、「エシカル消費」の普及促進を重点取組に位置づけ、持続可能な生産と消費、事業の推進を行っております。また、マイバッグの持参普及のため、1996年から全店でレジ袋の有料化を実施し、お買い物袋持参運動を展開してきました。お買い物袋持参率は、2019年93.0%、2020年94.0%と組合員の協力により長年取り組んできたことで高い持参率となっています。

2、 弊組合の「エシカル消費」の取り組みについて ※掲載のものは一例です。

(1) エシカル消費の利用推進を目的に、環境配慮型商品の取り扱いをしています。

店舗 エシカルコーナー	京都市 エシカル消費啓発への協力
	
<p>エシカル消費をより身近に感じていただけるよう、エコマークや有機JAS、FSC認証などを集めたコーナーを設置しています。</p>	<p>京都市「身近でできるエシカル消費～倫さんのお買い物編～」動画の制作に協力しました。</p>

(2) エシカル消費やSDGsの学習を推進しています。

「地産地消」などの組合員学習	「エシカルマークを探せ」取り組み
	
<p>産地見学などを通じ、国内、地域の食品を消費することが農業を守ることにつながることを学ぶ場を提供しています。</p>	<p>楽しいきっかけづくりとして、宅配カタログの中にあるエシカルマークを探す企画を実施しました。</p>

- (3) 食料自給率向上、地産地消推進の取り組みとして、生産者、組合員、弊組合が力をあわせ、行政と連携しながら食と農の循環を目指しています。

産直さくらこめたまご	サンゴ再生もずく基金
	
<p>卵の購入金額の一部を、飼料米と卵の生産者への応援金として寄付をしています。この商品は、京都府産内の飼料米を10%前後配合して生産されています。</p>	<p>対象品であるもずく購入金額の一部を、沖縄のサンゴを守るための支援金として寄付をする「サンゴ再生もずく基金」に取り組んでいます。</p>

- (4) 生物多様性の保全に向けた支援を行っています。

京都市動物園 看板サポーター	京都市動物園 餌代寄付
	
<p>2015年から看板サポーターに登録をしています。また親子参加の学習交流会を企画しています。</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症等災害対応・支援貢献金積立金」の中から、動物たちの餌代として寄付しました。</p>

- (5) 日本生協連や全国の生協とともに「コープSDGs行動宣言」の7つの取り組みを通じて、引き続き持続可能な社会の実現を目指します。

【コープSDGs宣言】



持続可能な生産と消費のために、商品と暮らしのあり方を見直していきます **12** 持続可能な消費と生産

核兵器廃絶と世界平和の実現を目指す活動を推進します **16** 平和と公正

健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を盛めます **3** 健康と福祉

地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します **13** 気候変動に具体的な対策を

ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します **5** 男女の平等と権利

世界から航空や航海をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します **14** 海洋資源の持続可能な開発

誰もが安心して暮らしていける地域社会づくりに参加します **11** 持続可能な都市とコミュニティ

京都生活協同組合

部署 政策企画部 広報担当

氏名 喜多 麻由 ☎ : 075-681-1415

✉ : kita-mayu@kyoto.co-op.jp

組合員数 55万人 (2021年3月現在) 総事業高 905億円 (2020年度実績) 店舗数 18店舗 支部数 10支部

ウェブサイト : <https://www.kyoto.coop/>

本部住所 〒601-8382 京都市南区吉祥院石原上川原町1-2